

## 事業評価

事業名	白い森おぐにの環境と食からつながる関係人口創出拡大事業					
事業年度	令和5年度					
事業期間	R3年度～R5年度					
地方創生 推進交付金 事業費	交付対象事業 総額	72,615,000円				
	令和5年度計画額 (交付予定額)	21,027,000円 (10,513,000円)				
	令和5年度実績額 (交付額)	20,521,510円 (10,260,755円)				
重要事業 評価指標 (KPI)	指標名	事業開始前 (計画策定時点)	事業終了時 目標値	R5年度 目標値	R5年度 実績値	R5年度 達成状況
	本事業におけるプログラム参加者数	0	60	60	111	達成
	本事業における個別プロジェクト件数	0	3	3	4	達成
	移住者数	49	10	10	46	達成
	町内企業新卒者雇用数	28	32	32	33	達成

所管課評価	達成状況	2	← 1 目標以上に達成できた 2 概ね達成できた 3 達成できなかった
	達成状況 の要因	各事業の内容をブラッシュアップしたことで参加者が増え、関係人口の創出につながった。また、地域住民のチャレンジを伴走支援することで、個別プロジェクトの実現に繋がった。	
	課題等	雇用を確保し若年世代の流出を減らすため、町での暮らしや町内企業の魅力をさらに発信していく必要がある。交付金事業終了後も、引き続き地域特性をいかした継続した取り組みが必要である。	
	今後の 取組の方針	関係人口から移住の間の取り組みを強化し、関係人口と地域住民との交流機会を増やすことで、さらなる移住者の増加につなげたい。	

### 委員評価

達成できており評価する。今後も効果的な事業展開を期待する。

# デジタル田園都市国家構想交付金を活用した 取組の状況について

- ・白い森おぐにの環境と食からつながる関係人口創出拡大事業  
2023年度分

令和6年10月28日  
小 国 町  
白い森ブランド戦略室

## 台東区ふるさと交流ショップ<sup>o</sup>（東京都台東区）

全国各地の自治体が1週間単位で入れ替わり、各地の魅力を発信する新しい形のアンテナショップ

■ 日程：R5.10.12（木）～ 17（火）

■ PR内容：

- ・ふるさと納税、各種イベント案内
- ・プロモーション動画上映
- ・タンブラープレゼント  
（3,000円以上お買い上げ）

■ 売り上げ：748,810円

■ 人気商品：

- ・生しいたけ
- ・角松屋バターどら焼き
- ・生まいたけ
- ・戻しきくらげ
- ・あけび最中



## 若葉台団地秋まつり出店（東京都稲城市）

以前より交流のある若葉台団地「ファインストーリー」の秋まつりに出店し、町の観光PRと特産品の販売を行った。

■ 日程：R4.11.3（金・祝）

■ PR内容：特産品販売、芋煮振舞（約140食）

ふるさと納税・ふるさとパックの案内、抽選会での町PRと景品プレゼント

■ 売り上げ：114,600円

■ 人気商品：生しいたけ、戻しきくらげ、生なめこ、どら焼き、たかきびうどん



## 港区ワークショップ促進事業 \* 港区主体の連携事業

港区内の事業者が連携自治体のワークショッププログラムに参加する場合に区が経費の一部を補助する事業に小国町としてエントリーし、1社に参加いただいた。

- 事業者：NEC
- 参加者：6名
- 日程：R5.10.5（木）～ 7（土）
- 内容：町めぐり・温泉×リモートワーク  
被災現場視察・芋煮懇親会  
桜川酒造見学・ディスカッション



## その他プロモーション

- 雑誌掲載



「月刊CAREL (キャレル)」



「道の駅フリーペーパー」

「サステナビリティ」「暮らし」「ローカルビジネス」「地域づくり」などに関心をもつ都市住民と町民がともに、白い森おぐにならでの魅力や豊かさを未来へつなげていくためのデザインを考える講座。受講生には自身と小国との関わり方を模索してもらい、継続的な繋がりをもつことで、関係人口の創出拡大、持続可能な地域コミュニティの形成を目指す。

## 講座カリキュラム

- 事前説明会（都内でのプレ講座）  
： 5月24日(水) 18:00～ 約20名が参加
- 第1回講座（小国町内）  
： 7月8日(土)～9日(日) 受講生10名参加  
町紹介、町中あるき、おぐに探訪（Naebaco、ペレットマン、カモスク）  
ワークショップ、町民との交流BBQ（約40人が参加）
- 第2回講座（都内でのワークショップ）  
： 7月26日(水) 19:00～21:30  
受講生12名参加  
小国のゲストトーク（川崎ひかりさん・村上友梨さん・吉田悠斗さん）、プランづくりワークショップ
- 第3回講座（小国町内）  
： 9月29日(金)～10月1日(日) 受講生11名参加  
弟子入り体験、森林セラピー、マタギの話、芋煮交流会
- 第4回講座（東京都内）  
： 11月23日(祝・木) 14:00～18:00  
受講生8名参加・一般参加9名  
小国町との関わり方プラン発表・交流会（小国の食）
- 白い森ドラフト会議・修了生交流会（小国町内）  
： 2月10日(土) 16:00～18:00  
1～3期受講生7名参加・一般参加10名  
修了生プラン発表会・懇親会（カモスク）



## 白い森おぐに食材PR業務

本町の魅力ある食材を首都圏及び東北在住の方に広く周知することで、「白い森おぐに」の認知度向上、ファンの醸成、継続的な特産品の購入や観光交流等につなげる。

### ○白い森から届く、こだわり食材フェア

- 期間：10月13日(金)～27日(金)
  - 会場：トレジオン東京赤坂店
  - メニュー：①わらびとなめこ&たかきびのシールサラダ：19  
及び ②やまがた地鶏のタタキカルパッチョ：27
  - 提供数 ③まいたけとしいたけの無限キノコ：34  
(赤坂+仙台) ④米沢牛のビーフストロガノフ：13
  - ⑤やまがた地鶏手羽元入りバターチキンカレー：31
  - ⑥桜川（出羽の里純米酒、純米大吟醸kairagi）：37
  - ⑦コース（前菜に小国食材）：189
  - ⑧お通し：200
- 計：550食



### ○白い森おぐにファンミーティング2023

- 期日：10月18日(水) 19:30～22:00
- 会場：東北カフェ&ダイニング トレジオンポート
- 参加人数：一般参加 30名、ゲスト町民 4名、担当者 2名  
ふるさと納税による申込 1名 計37名
- 内容：町紹介、ゲスト紹介、お食事交流タイム



## 白い森おぐにフードツーリズム

本町の食や食文化、地域ならではの暮らしをテーマとした食体験プログラム等を実施することで、地域資源の魅力と豊かさを都市生活者へと波及し、さらに町民との交流の場を設けることで協働関係を生み出しながら、フードツーリズムの推進、食による関係人口の創出拡大を目指す。

○山形県・小国町の春に出会う。  
大地の恵みくわらびの収穫体験付きツアー

- 期 日：6月17日(土)～18日(日)
- 内 容：Naebacoウェルカムランチ、マタギの話、森林散策、地鶏ハウス見学、わらび採り、金目そばランチ、あく抜き講習カモスクでのティータイム
- 参加者：13名



○冬の「白い森」へようこそ。  
季節の風物詩「節分祭」・雪あそび・飯豊温泉を楽しむ！ツアー

- 期 日：2月3日(土)～4日(日)
- 内 容：つる細工体験、大宮神社の節分祭、マタギの話、巨大かまくらわらび餅づくり、雪遊び、季節のお茶会
- 参加者：12名



# きっかけづくりと場の創造

## 白い森ローカルビジネス創出塾

本町の優れた地域資源を活用したビジネスプランや、町外の事業者と連携したビジネスプラン等、新たなローカルビジネスプランを発掘するとともに、事業化に向けた支援を行うことで、町民が主体的にチャレンジする意欲を刺激し、ローカルビジネスをとおした関係人口や交流人口の創出を図る。

### ■ 新規受講生の募集

- 1) 町広報、SNS等による周知
- 2) 募集説明会 (6月1日(木) 約20名参加)  
→応募者 3名

### ■ プランの実現に向けたハンズオン支援

- 1) 電話やオンラインツールでの会議
- 2) 現地での視察および企画会議、業務改善に向けたアドバイス
- 3) 商品・サービスの実現化、付加価値向上推進補助金の活用支援
- 4) プラン発表会の開催 (2月7日(水) 23名参加)

- 荒川澄子 酒粕スイーツの商品化
- 遠藤桃代 街コンの開催
- 舟山康名 小坂町空蔵活用プロジェクト

### ■ 4期生 (R4年度) への継続支援

- 1) 販売促進につながる支援、情報提供
- 2) 新商品のブラッシュアップ (わらび餅キット)
- 3) さらなる事業のステップアップに向けた支援 (キッズキャンプ)



# デジタル田園都市国家構想交付金を活用した 取組の状況について

- ・地域連携DMOを中心とした観光地域づくり推進事業  
2023年度分

令和6年10月28日

小 国 町

観光交流推進室

## 旅行商品（小国町分）

- 6/18～19 オレンジページ 小国町ツアー
- 6/3～4 朝日連峰山開き記念登山（中止）
- 7/1～2 2023 飯豊連峰山形県側山開き
- 7/31～8/4 OGUNI kids camp/キッズサマーキャンプ小国町
- 1/19～21 つる細工講習会－講習コース（初心者向け）
- 2/4 小国山岳会町民登山
- 2/3～4 オレンジページ 冬の「白い森」へようこそ。季節の風物詩「節分祭」・雪あそび・飯豊温泉を楽しむ！  
山形県・小国町ツアー。
- 2/23～25 小国町移住体験モニターツアー ～きびしい冬のあったかい町～
- 2/16～18 つる細工講習会－講習コース（初心者向け）
- 2/23～24 満月の月明かりで夜の雪上散歩
- 3/2～3 第26回 雪の学校 ～マタギと一緒に残雪の森をトレッキング～
- 3/3 かんじき雪山歩き体験 - 白太郎山

※12のツアーで206人（うち宿泊者154人）の参加があった。



## 旅行商品：つる細工講習会

小国町観光協会の主導のもと「つる細工講習会」講習コース・交流コースを、連携してツアー商品化した。初心者向けの「講習コース」と、地元の参加者や経験者を対象とした「交流コース」に分けて募集し、新規客・リピーターともに多くの参加者が集まった。山形新聞とNHKやままるに取り上げられた。

- 期間：1月19日～21日 / 2月16日～18日
- 場所：飯豊梅花皮荘
- 内容：初心者向けの「講習コース」  
経験者対象の「交流コース」に分けて実施した。
- 参加状況：50名



## 季刊誌制作

年4回季刊誌（#16～19）を発行（R元年度～）

### ■ #16号 6月発行

コンテンツ：「おいしい」記憶と探究／石焼きなんばん／お土産・名物／2市3町フォトスポットマップ／“ただの生まれた場所”について考える

### ■ #17号 10月発行

コンテンツ：飯豊連峰を歩む／山の人／自然と人との重なりに見つけたアルカディア／山小屋・山荘／2市3町フォトスポット

### ■ #18号 1月発行

コンテンツ：地域のことば／山のことば／方言のちから／方言で味わう昔語り／インタビュー

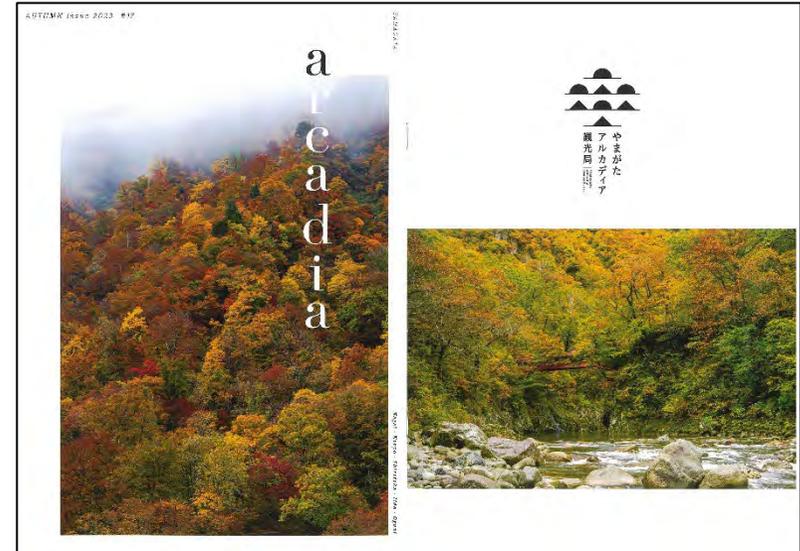
### ■ #19号 3月発行

第一特集：願いを込めた置賜の儀礼

第二特集：未来へ

インタビュー：内谷理事長、鷲見副理事長、堀江戦略会議委員長鼎談

SPOT/SHOP：「あなたにとってのアルカディアとはなんですか？」



17号表紙は綱木箱口の紅葉（裏表紙は小玉川天狗橋）



## お土産品開発・販売

来訪者に向けてアルカディアエリアならではの土産品を企画、販売し、地域のブランド力向上を目指した。

- アルカディア手ぬぐいの販売  
希望小売価格 1,320 円  
販売枚数 長井185 南陽131 白鷹198 飯豊393 小国211  
販売枚数合計 1,118 枚



- 地域ブランディング型の菓子土産品の販売  
飯豊町菓子店との連携のオリジナル菓子土産品「アルカディアからの贈り物」の販売  
販売小売価格 1,080 円  
販売個数合計 146 個

※令和6年度から新規で長井市、南陽市、白鷹町、小国町の菓子店とで連携したオリジナル菓子土産品を販売



令和6年度の菓子土産品

## 観光庁「インバウンドの地方誘客や消費拡大に向けた観光コンテンツ造成支援事業」

### ■ 事業概要

インバウンドの地方誘客や観光消費の拡大を促進するため、観光事業者が連携してインバウンド向けに地域に根差した観光資源を磨き上げから販売開拓まで一貫した支援を受けるために、事業名：150年前のARCADIAに想いを馳せ、150年後のARCADIAを想像し旅する、「アルカディア郷山紀行」コンテンツ・ルート開発事業、総事業費6,600千円（税込み）〔補助額：5,000千円 自主財源（1,600千円：収益事業分を充当）〕として採択を受け実施。

### ・モニターツアーの実施

期日：令和5年12/9（土）～12/10（日）

参加者：在日外国人4名（アメリカ人3名・イギリス人1名）、日本人1名

同行者：岡林氏、竹氏、事務局、丸山、沼澤（イザベラバードの案内役イトウとして）

### 【1日目】

JR山形駅観光案内所 9:15 集合 — レセプション後小国町「藤よし」昼食 —

小国町 黒沢峠の敷石道 散策（蓑を着て記念撮影） — 飯豊町 田園散居集落景観見学（ホトケヤマ散居集落展望台より） — 長井市お茶のみ（鈴木さま宅） —

長井市内あらまち歩き — 白山神社黒獅子 例大祭の再現の見学と体験 終了後、獅子連の方々との直会（芋煮の振舞い） — なごみ庵夕食 — 希望者二次会「夜汽車」 — 長井市内タスパークホテル宿泊

### 【2日目】

ホテル出発 — 南陽市 十分一山の葡萄畑と置賜盆地の郷山景観 —

白鷹町 深山和紙センター見学と和紙のちぎり絵体験 — のどか村昼食 — 振り返りの会（あゆむ） — 山形駅前解散 16:00



小国町「藤よし」昼食



黒沢峠の敷石道

# デジタル田園都市国家構想交付金を活用した 取組の状況について

- ・移住定住・人材確保戦略的展開事業  
2023年度分

令和6年10月28日

小 国 町

企 画 財 政 室

## 移住フェアへの出展

山形県や（一社）移住・交流推進機構（JOIN）等が主催する各種移住フェアへ出展し、移住希望者とのマッチングなどを図った。

- おいでや！いなか暮らしフェア2023 : 7月22日（土） 主催：大阪ふるさと暮らし情報センター  
OMMビルA・B・Cホール会場で開催 相談者4組4名
- やまがたハッピーライフカフェ : 12月23日（土） 主催：置賜地域移住交流推進協議会  
東京交通会館会場で開催 相談者1組1名
- JOIN移住・交流&地域おこしフェア2024 : 1月13日（土） 主催：（一社）移住・交流推進機構  
東京ビッグサイト会場で開催 相談者15組17名



## 小国町地域資源活用域学連携事業

- ・令和2年～3年にかけて新型コロナウイルス感染症の影響で合宿が実施できなかったため、羽越水害の教訓から建設されたダム施設見学や、雪を利用したアクティビティなどといった小国町ならではのプログラムを体験してもらい、小国町について理解を深めてもらうことを目的とし、事業を実施した。
- ・今後どのような活動に取り組みたいか、どのように地域と関わっていききたいか等意見やアイデアを提案してもらい、これからの域学連携事業の進め方検討した。

- 早稲田大学等との活動 : サステナブル・コミュニティ論への協力 ①オンライン授業1回 (4月21日)

合宿 2回 (9月10日～12日・9月17日～19日、2月16日～18日)

- 新潟大学との活動 : 「Jホーム」での地域連携活動を実施  
・玉川地区でのしめ縄づくり等に参加、萱野峠の看板設置

- 地域づくりインターンの会 : 8月合宿 (8月7日～13日) 3名のインターン生受け入れ  
・北東部地区納涼盆踊り大会の準備・運営活動 (北東部地区コミュニティ睦との協働)  
・地域体験学習 (しめ縄づくり・昔あそび・笹巻きづくり)



## 移住体験ツアー業務委託

- 内容  
冬期間の町の景色に触れながら、実際に手仕事を中心とした生活文化に触れる移住体験ツアーを実施し、家族連れや女性層等をターゲットとしたコンテンツを提供するとともに、一般的な施設案内や観光メニュー体験に加えて、住まいや子育て環境などを含めた町のPRを行った
- 委託先  
小国町観光協会
- 実施内容
  - ・体験ツアー 1回 (移住体験モニターツアー～きびしい冬のあったかい町～)  
令和6年2月23日(木・祝)～25日(土) 2泊3日  
参加人数 10名  
こんにゃく・いも煮作り体験や、雪掘り体験、巨大かまくら見学など地元の方に協力いただき、小国ならではの特性をいかしたツアーを実施  
当ツアーのフォローイベントとして3月9日(土)にツアー参加者同士のオンライン交流会を実施し8名が参加した
  - ・SNS等を活用した魅力発信、移住相談



## 移住マッチングサイト調査・運営及び移住体験ツアー業務委託

- 内容  
移住マッチングサイトの利用状況調査や運営を通して、その傾向を知るとともに小国町や山形県に縁や関心がある方に直接アプローチを行い、個別のニーズに合わせた移住体験ツアーにより本町を訪れ町の魅力である人材、景色及び食材等を存分に堪能することで小国町を体感してもらい移住定住促進を図った
- 委託先  
おぐにマルチワーク事業協同組合
- 実施内容
  - ・個別移住体験ツアー 2回
    - 第1回 令和5年12月23日（土）～24日（日）  
参加人数 1名  
ツアー内容：シェアハウス見学、おぐマル職員・町民との交流活動、カモスク・桜川酒造の見学
    - 第2回 令和6年2月17日（土）～18日（日）  
参加人数 3名  
ツアー内容：第1回と同様の体験のほか、巨大かまくら見学、雪原散策
  - ・移住マッチングサイト調査・運営
    - 調査：「SMOUT」・「ピタマチ」の2社の移住マッチングサイトにおいて移住者に対し山形県への移住意向アンケートを実施  
アンケートをとりまとめ、アンケートをもとにした具体的なターゲット設定を行った
    - 運営：調査時に活用した移住マッチングサイト2社の利用者に移住体験ツアーのPRメッセージを送った



# デジタル田園都市国家構想交付金を活用した 取組の状況について

高校を核とした新たな人づくり・人の流れづくりプロジェクト事業  
2023年度分

令和6年10月28日  
小国町教育委員会  
高校魅力化推進室

オンラインによる「地域みらい留学フェスタ」への参加（748,000円）、対面での説明会旅費（36,360円）、ウェブサイト運営委託料（55,400円）

（一財）地域教育魅力化プラットフォームが実施する「地域みらい留学」制度を活用し、令和6年度から山形県立小国高校へ入学を希望する県外中学生に向けた説明会を実施した。

		（一財）地域・教育魅力化プラットフォーム主催説明会	小国高校個別相談会（オンライン説明会）	東京などの対面説明会	オープンスクール（現地訪問含む）	合格
令和4年度実績	参加人数	259人	214人		13人	5人
	実施回数	10回	31回		オープンスクール1回 現地訪問は随時	
令和5年度実績	参加人数	153人	88人	14人	19人	6人
	実施回数	11回	36回	1回	オープンスクール1回 現地訪問は随時	
令和6年度現在までの実績（参考値）	参加人数	75人	40人	60人	19人	
	実施回数	5回（9回）	32回	2回	オープンスクール1回 県主催バスツアー1回 現地訪問は随時	

## 小国高校魅力化コーディネーター配置（4,360,498円）ほか

魅力化コーディネーターとは、山形県立小国高校における教育や教育環境をより魅力あるものとするため、学校内（生徒、教員等）と、学校外（地域住民、地域内外の教育資源、行政等）をつなぐ人材を1名配置した。



白い森未来探究学講師謝礼（206,600円）、講師費用弁償（57,196円）、バス代（107,202円）

山形県立小国高校は、地域学習とキャリア教育を複合させた「白い森未来探究学」カリキュラムを構築しており、1～3年生まで、地域に密着した実践的な教育を行っている。

知見や経験を活かして、進路実現へ発展させていく新しい教育を行ううえで必要な、講師への謝礼や移動費を支援した。



白い森未来探究学  
(地域に浸る講座)



白い森未来探究学  
(アントレプレナーシップ教育)



白い森未来探究学  
(ハタラトーク)

(株)リクルート社「スタディサプリ」使用料 (431,200円)、ポケットwi-fi使用料 (264,000円)

山形県立小国高校は、本町の保小中高一貫教育における最高学府として、「国際理解」、「情報」においても特色ある教育を実践している。県が配布している1人1台のchromebookで、(株)リクルートが運営管理しているAI教材である「スタディサプリ」を活用できるよう、高校生74人分の使用料を支援した。

また、オンラインでの募集活動や、保護者との個別面談等に使用するポケットwi-fi (2台) を使用した。



スタディサプリも導入!  
個別最適の学び!



留学生アシスタントの配置 (3,919,620円)、寮の食事提供に係る人件費 (2,704,000円)  
ハウスマスターへの謝礼 (2,602,600円)、ハウスマスター保険料 (7,640円)

地域みらい留学365生及び白い森留学生が生活する留学生寮において、日中は「留学生アシスタント」、夜間は「ハウスマスター」を配置し、体調の急変時などの対応や生活指導、休日の地域活動などをサポートしている。  
令和5年度は、アシスタント1名、ハウスマスターは10名程度、食事提供は2名で活動していた。



## 小国高校学習支援事業交付金（510,000円）

小国高校生の学習支援として、英検対策講座や漢検対策講座のほか、試験前対策学習会、スタディサプリ活用学習会などを企画・実施した。

毎年2～3月、教員の入選業務により家庭学習日等が多く、こうした際の学習習慣の維持も目的としている。



## 高校魅力化評価の実施、分析（184,000円）

別紙、資料のとおり、全国の高校約300校が同じ評価システムで、生徒の自己評価、カリキュラム等の評価を行っている。小国高校は、主体性、社会性が全国平均よりも大幅に高い。

# デジタル田園都市国家構想交付金を活用した 取組の状況について

## ・淡水魚放流事業 2023年度分

令和6年10月28日

小 国 町

農 林 振 興 室

## アユ・イワナ・ワカサギの放流

荒川、横川等において、淡水魚の計画的な放流を実施することによって豊かな魚群を確保し、町内外から訪れる遊漁者等の交流人口の増加と内水面漁業の振興、及び観光産業の活性化を図ることを目的に実施するもの。

- 期 間：令和5年4月～令和5年12月
- 場 所：荒川、横川等 35箇所
- 内 容：アユ 50kg (約 7,140尾)  
イワナ 200kg (約 20,000尾)  
ワカサギ 420万粒
- 委託先：小国町漁業協同組合

